

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立諸富北小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日（木）

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童（中学校3年生生徒）

■ 調査の内容

（1）教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問調査

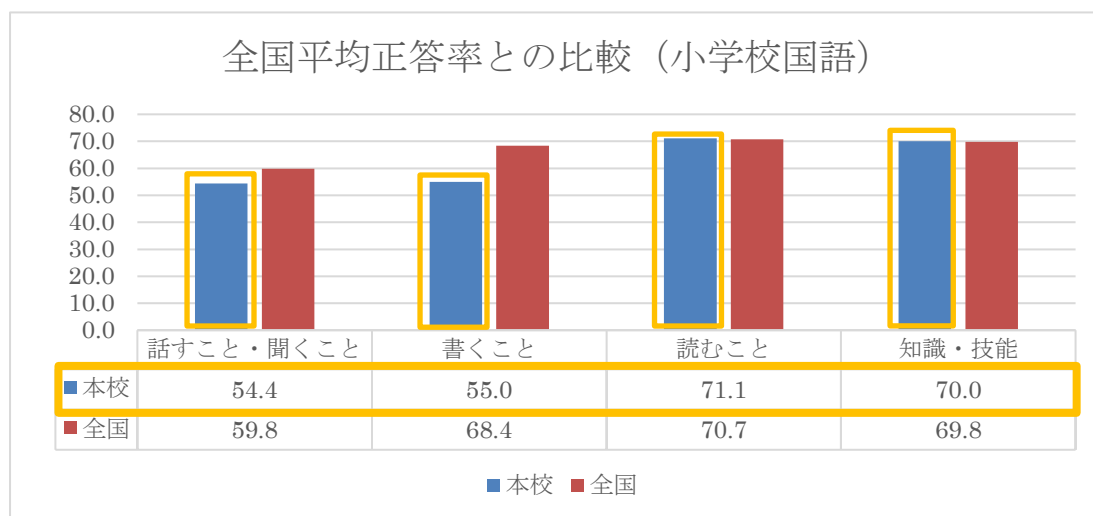
児童（生徒）に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語



(1) 結 果

「読むこと」「知識・技能」は、全国平均正答率をやや上回っています。「書くこと」「読むこと」は、全国平均正答率を下回りました。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「読むこと」の正答率は、全国平均正答率を上回りました。記述式の問題では、全国平均を大きく上回る箇所もありました。無回答率も少ないです。普段から、「読むこと」「書くこと」の活動に取り組んでいる成果が表れていると考えられます。課題は、「書くこと」の正答率を上げることです。「書くこと」の正答率は、全国平均正答率を下回っており、苦手になっている児童が多くいます。児童の書く力を高めることが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

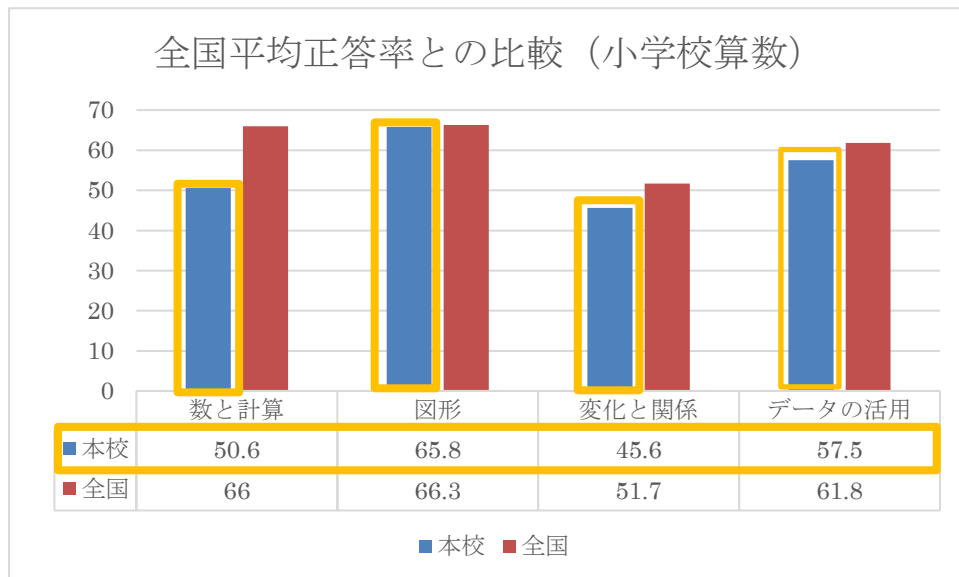
(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
- 漢字の読み書き、ことわざ等の学習に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙力を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろんな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。毎週金曜日の読書の宿題やほかほか読書の機会をぜひご活用ください。



（１）結 果

全ての領域で全国平均正答率をやや下回っています。

（２）成果と課題

今回の調査では、記述式の問題の平均正答率が、全国平均正答率を上回りました。無回答率も少ないです。自分の考えを、式や言葉を使って論理的に書く機会を増やすなどの授業改善の成果が表れていると考えられます。課題は、「数と計算」の領域の、小数のわり算の問題や除数が小数であるときの除法と商の大きさの関係についての問題の正答率が全国平均を下回っていました。

式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたりして、記述式の問題に対応できる力も大事ですが、まずは基礎・基本の定着が必要であると捉えています。

（３）学力向上のための取り組み

【学校では】

- 式から答えを出すだけでなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させるようにします。
- 下学年から、計算の基礎・基本の定着に努めます。苦手をしている児童が多い単元では、前学年の復習プリントから取り組みます。
- ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 算数が好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」という経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。
- 宿題で、算数音読が出ていると思います。毎日の積み重ねが大事です。タイムを計ったり、励ましの声かけをしたりしながら取り組みを続けてください。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結 果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	77.4 %	83.4 %
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	29.0 %	39.7 %
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	38.7 %	56.1 %
自分にはよいところがあると思いますか。	38.7 %	43.4 %
将来の夢や目標を持っていますか。	51.6 %	60.6 %
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	80.6 %	71.1 %
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	71.0 %	79.5 %

朝食・起床・就寝など、基本的な生活リズムについて、4月時点としてはどれも全国平均を下回っているという結果になりました。「早寝・早起き・朝ごはん」という合言葉で生活リズムの大切さはこれまでも伝えてきましたが、これらを身に付けることは、学習面、生活面、体調面にとって大変重要だということを改めて児童や保護者に啓発し、家庭と学校が協力して習慣化していかなければいけないことだと考えます。また、自分の良さを認めることやいじめを許さないという思いなど、大事な事柄について一緒に考えていきます。

「人の役に立ちたい」という思いは、全国平均を上回っていましたので、今後も支援を続けていきます。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。→①「3時間以上」	① 0 %	11.0 %
→②「2時間以上、3時間より少ない」	② 19.4 %	12.5 %
→③「1時間以上、2時間より少ない」	③ 25.8 %	31.1 %
→④「30分以上、1時間より少ない」	④ 32.3 %	27.0 %
→⑤「30分より少ない」	⑤ 12.9 %	13.0 %
→⑥「全くしない」	⑥ 9.7 %	5.3 %

家庭学習については全国平均ほぼ同等ですが、中学生を目の前にしてまだ「1時間未満」(④⑤⑥)の児童が5割程度おり、その中には「⑥全く家庭学習をしていない」児童が1割いました。家庭学習の習慣化や時間量についてはかなり個人差が見られました。「学習の手引き」や学力向上だより『ぐんぐん↑↑』をもとに家庭学習の意味や大切さを児童、保護者に啓発を続けています。さらに、今後も継続して家庭学習が充実する取り組み（宿題の設定、PTAや地域との連携、コミュニティスクールの活用等）を行っていきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を課しています。内容もドリル的なものや主体的に考えて行うもの、興味を引くものなど、学年や児童に応じて工夫をしています。また、4～6年生は学習用端末を持ち帰り、宿題の1つのツールとして活用を進めています。
- 児童の主体的な学びを支えるための授業づくりを進めています。「分かる・できる」と感じるができる授業を行っています。学習内容や学習方法などについていつでも質問してほしいです。
- 始業前の朝読書を推奨したり、図書委員会を中心として読書イベントをしたり、「おはなしオルゴール」さんによる読み聞かせや読書ノートの活用など読書の機会を増やすための工夫をしています。

【ご家庭では】

- 生活面については、家庭での声かけや意識づけがとても有効です。特に睡眠時間・起床時間・朝食などの生活リズムの構築については、日常的に気がけて声をかけ、一緒にしてあげてください。決まった時間に決まったことができるめりはりのある規則正しい生活と家庭学習の定着は、今の諸富北小学校の児童にとって極めて大切であり、今後にも大きな影響を与えます。
- 「家庭学習の手引き」や「学力向上だより」等を参考に、学習の意味や学習時間の目安などを考え、自分で目的をもって学習に取り組めるように励ましてください。